

埼玉の学校だからできる環境活動 —私たちの「学び」から「社会」の学びへ—

活動を行う団体

浦和実業学園中学校・高等学校（社会科同好会） <http://www.urajitsu.ed.jp/jhs/jhn/24954.html>

活動の概要

平成30年度に中学1年生が創部し、令和元年度（中学2年生に進級年度）は、さいたま市南区での清掃活動や、埼玉県秩父市で自然と光害を学ぶ夏合宿、三芳町でのリサイクル工場の見学など、地元である埼玉の街で多くを学んだ。



生徒たちで企画した夏合宿では、埼玉県秩父市に訪れ、昼には奥秩父の大自然の中を散策したり、川に触れ合う自然体験を行ったりし、夜には都市部と山間部の夜光の量を観測する「光害研究」を行った。

また、高校生が入部したことで模擬国連にも参加できるようになり、「環境問題の解決と経済化」をアフリカのチャドという国の大使として全国の中高生に訴えることができた。



さらに、工場見学をさせてもらった石坂産業株式会社や埼玉県庁の方と共に、SAITAMA 環境フェア&こどもエコフェスティバルに出展した。ステージ発表では、「MOTTAINAI」と「SDGs」を絡めた内容について、生徒達が自分達の手で、子どもたちとその保護者向けに発表・解説を行った。

また、ブース展示では、かごの中にあるペットボトルキャップと缶のキャップを分別するゲーム等を通じて、子どもたちや保護者の方々が環境問題に触れるきっかけを作ることができた。

生徒自身の学びを社会に伝え、少しでも多くの方に「一緒に行っていきましょう」と伝えることを目的として活動をしている。そして、自分たちの学びである「物のありがたみ」や世界で目指す「SDGs」の大切さを、社会の人々の学びという形に変えて、還元したいと考えている。



優良事例のポイント

地域にある多様な自然・環境・資源を活用した体験活動を通じて、生徒たちが自ら進んで多くのことを学ぶことができている。さらに、その学びで得たことを、様々な場において伝えるアウトプットも含めた体験ができており、主体的な学びにつながっている。